



# いじゅの木だより vol. 62

発行元：社会福祉法人 伊集の木会 就労支援いじゅの木

住所：那覇市宇古島12番地1 電話：098-864-0033

編集担当：猿渡 梓司



## 【3月の予定】

～B型・就労移行～

10日(火) 工賃支給日

16日(月) ビジネスマナー

研修(就労移行班)

20日(金) 春分の日

※毎週水曜日はクラブ

新型コロナウイルス感染拡大防止を目的とした予定変更がある可能性があります。

～児童デイサービス～

未定

## 【B型・就労移行】春の遠足で「いちご狩り」

2月18日、日頃の生産活動の労をねぎらうことを目的として「いちご狩り遠足」に出かけました。今回訪れたのは宜野座村にある「志良堂いちご園」。昼食は「だいこんの花(美里店)」でピュッフェスタイルの昼食を楽しみました。最後に海中道路沿いにある「海の駅あやはし館」にて自由行動。参加者全員で記念撮影をしたのち施設に戻りました。(裏面「春の遠足(スナップ写真集)」にてその他の写真を掲載)



## 【おしらせ】新型コロナウイルスへの対応

27日、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、安倍総理大臣は3月2日から全国すべての小学校・中学校、それに高校などについて、春休みに入るまで臨時休校とするよう要請する考えを示しました。それに伴って、**児童デイサービスをご利用の皆様にはサービス提供時間の変更**をお知らせします。

**児童デイサービス：令和2年3月3日から休校期間終了まで長期休みと同様の対応を行います。**

**朝9：00(自宅にお迎え開始)～夕方16：00(送り開始)**

**(※期間中登校日がある場合：学校でお迎え後、夕方17：30から送りを開始)**

※就労移行・B型をご利用の皆様について時間的変更はありません。平熱より高く、体調不良が疑われる利用者の方につきましては早めの帰宅をお願いする場合がありますのでご理解をお願いします。

## 【グループホーム】モニタリング開始

グループホーム下半期におけるモニタリングを行いました。各ホームの状況や課題の達成有無、次年度に向けて今後の対応について話し合いを行っています。利用者の方々が過ごしやすい安定した生活が送れるように対応していきたいと思っております。



各ホームの世話人や生活指導員が集まって行われるモニタリング

## 1月度皆勤のみなさん

**皆勤手当を貰った方を発表します**

伊禮保光さん 比嘉正明さん 具志晃一さん  
山岸浩之さん 佐久間美保さん 屋宜宣也さん  
平良隆行さん 豊里拓史さん 比嘉直樹さん  
伊禮 隆さん 外間正克さん 赤嶺明彦さん  
新垣和也さん 高良直嗣さん 宮城 力さん  
富山 勉さん 仲間さやかさん 城間和美さん  
知花行宏さん 赤嶺悦子さん 合計 20名

発行日：令和2年2月29日



【B型・就労移行】春の遠足（スナップ写真集）



【園芸・出向班】真地交差、花壇の様子

真地交差点の植栽作業を終え、写真右のように草花がきれいに整えられています。今回使用した花の苗は全て園芸班がいじゅの木のハウスで育てたものを使用。マリーゴールド・ベコニア・クリサンセマム、計 4500 本を使用しています。現在は水かけ作業を通した維持管理を行い、花の開花とともに見頃を迎えます。一方で他の花壇への植栽作業も並行して行っており、各地で園芸・出向班の活躍が見込まれます。



マリーゴールド



クリサンセマム



真地交差点 2月8日現在の様子

【就労移行】実習報告

就労移行支援サービスで一般就労を目指し、座学や作業にがんばっている上原園美さん。2月上旬に5日間、首里の「こざくら保育園」で初めての实習に臨みました。

顔合わせのときは緊張でガチガチでしたが、初日が節分で豆まき等のイベントもあったおかげで、子供たちともすんなりとけこみ生き生きと実習に取り組んでいました。

実習先の先生方からも「子供とのかかわりに慣れている」「気が利くところがある」「(職員として) 戦力になっていた」など高評価をいただきました。

本人も「これからもっとたくさんの実習に行って早く就職したい」と就職への意欲がさらに高まったようでした。



保育園の児童と一緒に記念撮影

(※写真は保育園から許可を頂いております。)



今月は沖縄中央学園から実習生の受け入れを行いました。実習中はB型の各班・児童デイサービスの現場を体験。利用者の方々と交流をはかりながら実習に取り組む学生らの姿がありました。ここでは2月10日から21日の期間で行った前里真菜さんと宮原健吉さんの実習の様子を紹介します。二人は将来、保育士を目指しています。

### ●就労継続支援B型（室内・カゴ洗浄班）での様子

この日、カゴ洗浄を行った二人。利用者の方々に交じって活動をしました。二人に活動の感想を聞くと、宮原さんは「利用者の方々の仕事に対する積極的な姿勢に、日々“誇り”を持って仕事をしている」と感じ、前里さんからは「馴染めるか不安ななかで、利用者の方々が積極的にかかわってくれたことが嬉しかった」と話してくれました。



前里さん（写真中央）と宮原さん（写真中央手前）

### ●就労継続支援B型（園芸・出向班）での様子

園芸班の専門的な活動に驚いたという二人。水かけ作業のお手伝いだけでも、花によって水の量を調整していることや、草花を傷つけない水のまき方など、考えることが多く難しかったと話していました。それでも、園芸・出向班からは活気とチームワークが感じられ、利用者の方々から励まされながら活動したことが印象深いようでした。写真は実習生が利用者の方々と一緒に協力して植栽した花壇の様子です。



左から前里さんと宮原さん 与儀公園の花壇にて

### ●児童デイサービスでの様子

実習では「児童の個性に合わせてひとりひとりとかわりを持ちたい」と話す前里さん。最初はコミュニケーションの取り方に難しさを感じていましたが、児童からの積極的なかわりを通して次第に肩の力が抜けていったようでした。宮原さんはギターで「ドラえもん」の曲を弾き、曲に合わせて児童みんなで合唱をして場を和ませました。



実習生と児童の皆さん

### ●実習の感想

#### ・前里真菜さん

2週間の実習を終えて、たくさんの方々のことを利用者の方や支援員の方から学ぶことができました。不安な気持ちもあるなか、利用者の方々はとても明るく気さくに話しかけてくれました。また、支援員と利用者の方のやり取りを見ていると、とても安心した表情で話されているなと感じました。信頼関係があるからこそ利用者の方も安心して過ごせるんだなと思いました。楽しく学ぶことができました。

#### ・宮原健吉さん

緊張もありましたが、利用者の方々に気さくに話しかけていただき、和気あいあいと楽しく作業をすることができました。作業を通して支援員の利用者の方に対する声かけの仕方等をたくさん学びました。児童デイでは3日間お世話になりましたが、やはり児童に対する声かけや対応は勉強になりました。支援員同士の雰囲気の良いことも印象的でした。10日間学ばせていただいたことを今後も活かしていきたいと思っています。



●節分

2月2日、今年も節分を行いました。教室に豆をまくことができなかつたため豆の代わりに柔らかいボールを使いました。鬼のお面はかわいいものを準備していましたが、金城さんが自分で作ったお面を使いたいという希望があったため、鬼はゲームキャラクターの「青鬼」をモチーフにしたお面をつけた金城さんをお願いしました（写真右）。豆の代わりにボールを使い、鬼はゲームキャラクターという独特な豆まきとなりましたが、手作り感のあるイベントでわきあいあいとその場を楽しみました。



●実習生によるパネルシアターの披露

今月は何名かの実習生が児童デイにきました。そのなかでパネルシアターの披露も印象的でした。パネルシアターとはフェルトのボード上に、物語の進行に合わせてキャラクターを配置していくものです。写真右は『どうぞのいす』という絵本をパネルシアターで発表している実習生の様子です。児童の楽しそうな表情と眼差しが向けられているのが見受けられます。



●内間児童館「あかぎまつり」

8日、内間児童館にて「あかぎまつり」が行われ、地域の子供たちが児童館に集まりました。まつりでは企画されたゲームに挑戦して景品をもらったり、美ら海水族館から移動水族館がやってきました。昼食には婦人会の方々作ったカレーが振る舞われました。児童デイサービスも「あかぎまつり」に参加し、地域の子供たちとの交流をはかりました。



●誕生日会

8日、「あかぎまつり」のあと施設に戻り、宗官さんの10歳を祝う誕生日会を行いました。まつりあとで疲れた様子の児童でしたが、市販のチョコレートケーキを振る舞うとおいしそうに食べていました。このケーキはまつりあとに宗官さんが職員と一緒に選んだケーキだったため、自分が選んだケーキが他の児童もおいしく食べているか気にする宗官さんの姿が見られました。



【スナップ写真集】

